

第6学年3組 道徳学習指導案

平成27年10月2日（金）第4校時
 在籍児童数 31名
 指導者 亀田 央葉

- 1 主題名 真の友情 2－（3）
 資料名 「ロレンゾの友達」（出典 文部省 読み物資料とその利用2）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

内容項目2－（3）「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し合う。」は、低学年「友達と仲よくし、助け合う。」、中学年「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」に関連し、中学校「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。」に発展していく。

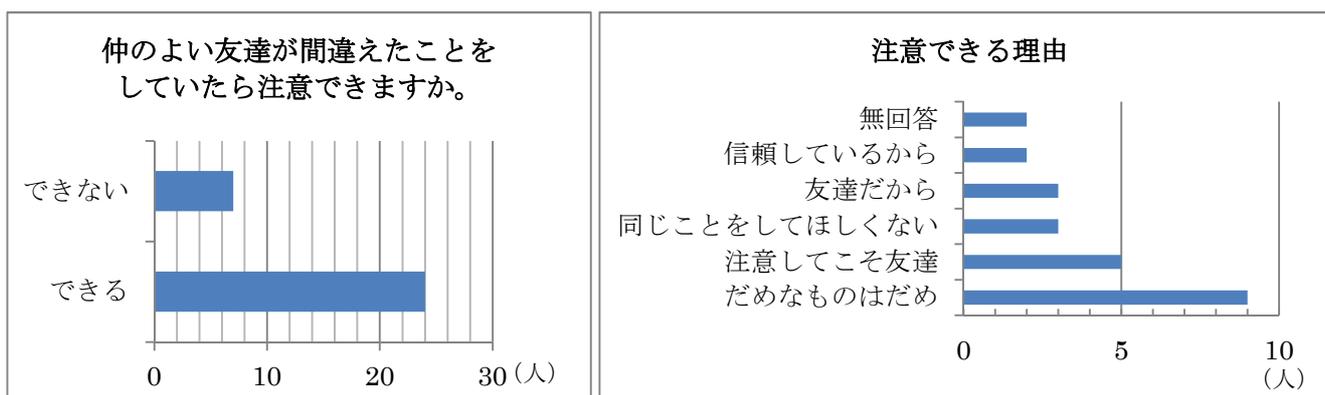
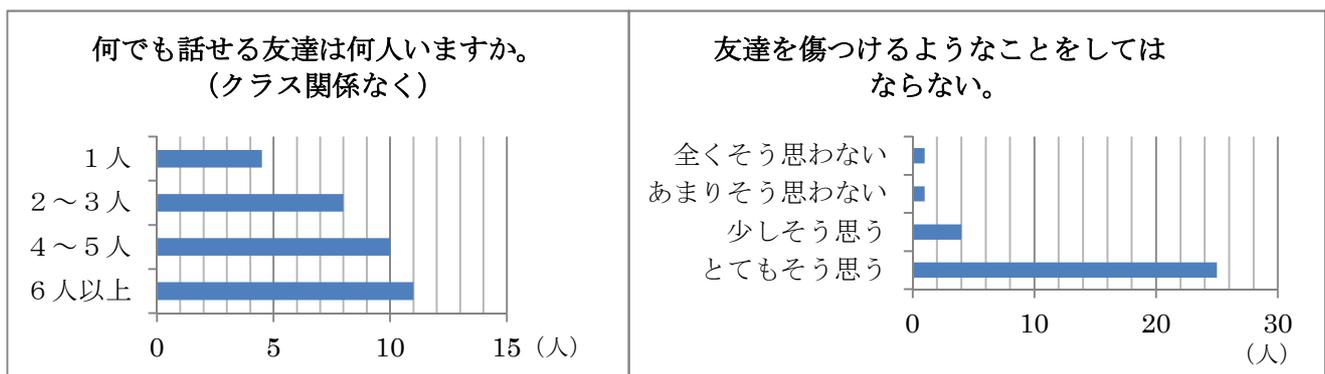
人は社会の中で多くの人や仲間とのかかわりをもって生きている。望ましい人間関係を築いていくためには、お互いの立場や気持ちを考え合い、信頼し合い、助け合おうとすることが大切である。この時期の児童は、閉鎖的な仲間集団を作る傾向が見られるようになる。その中で、関係が崩れることを恐れてか、注意することを躊躇したり、引きずられたりする姿がある。そのため、より一層健全な友達関係を育てていく必要がある。よりよい友達関係を築くため、本当に友達のためになることは何かを考え、互いに磨き合い、高め合うような真の友情を育てていくことが求められている。

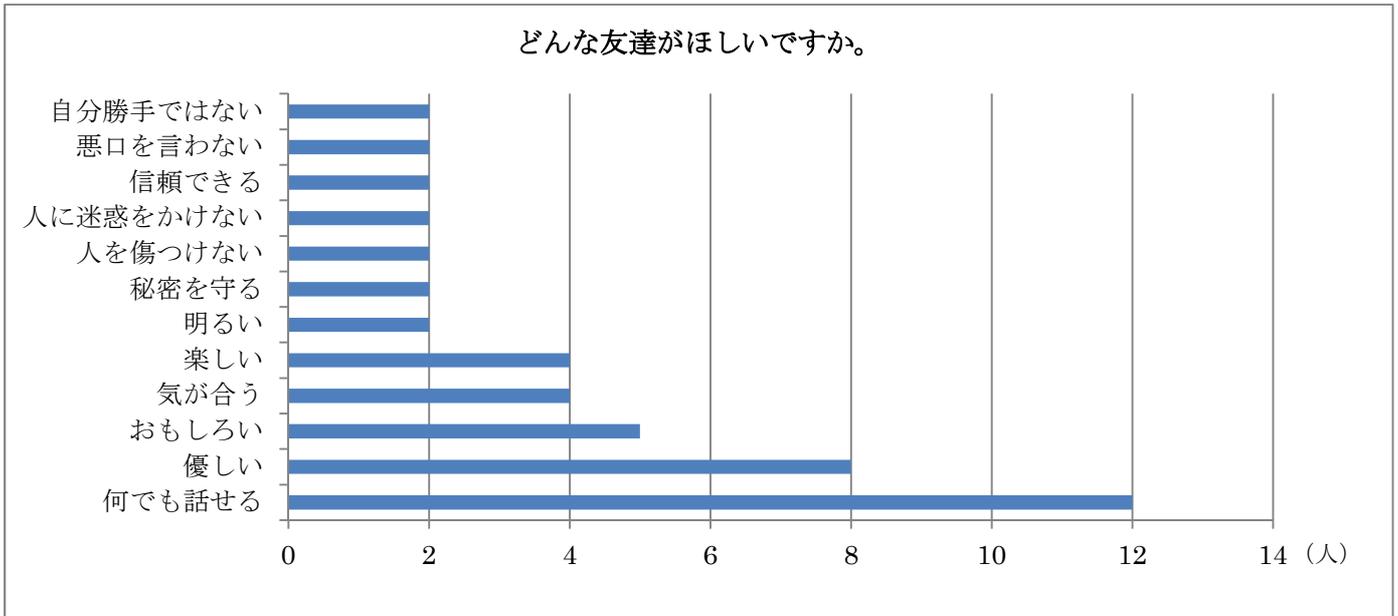
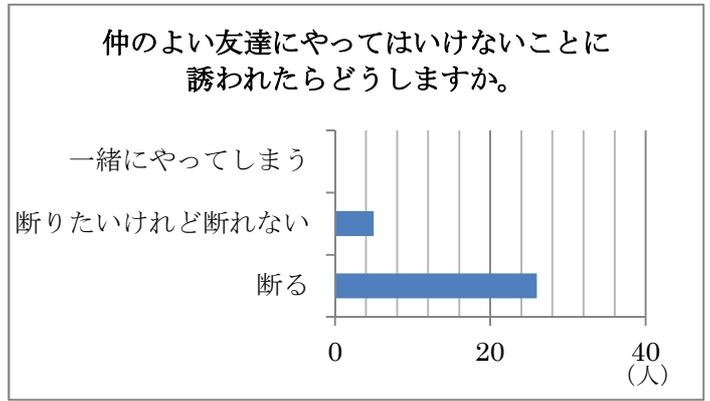
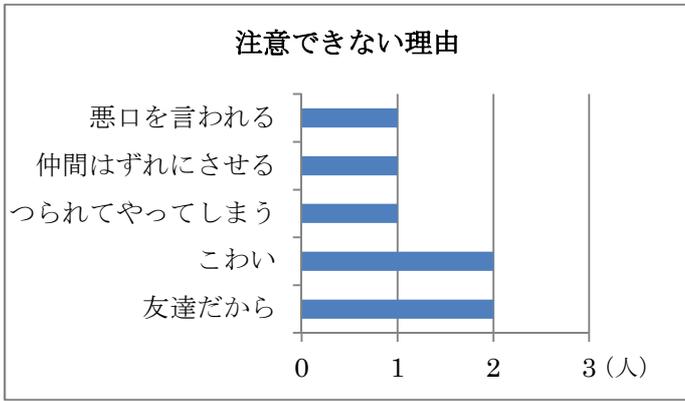
友情は、信頼関係から成り立っている。友情とは友への思いやりである。自分の利害損得にとらわれることなく、相手の立場を考え、助けよう、励まそう、時には突き放さなければいけないといった思いである。信頼とは、ともによりよく生きるために、自分がかげがえのない存在として相手を大切にし、相手も自分のことを大切にしていると信じることである。友達の存在がこれまで以上に大きなものとなるこの時期に、仲良しの遊び相手から一歩進んだ真の友情を育てていくことは、児童の成長に大切なことである。

（2）児童の実態について

本学級の児童は、友達を思いやる行動がとれる児童が多いが、仲のよい者同士で集まり、それ以外の者には無関心な行動をとる傾向の児童がいる。自分よりも弱いと思う者に対して厳しい態度をとったりする姿も見られる。また、けんかにならないように、嫌な思いをしないようにと気を遣いながら友達と接している児童もいる。

本学級の児童を対象に友達に関する意識調査を行った。結果は以下の通りである。





以上のアンケート結果から、「何でも話せる友達」は人数が少なくても全員いることがわかった。「友達を注意できる」と回答した児童は、記述内容から友達のことを思っていることがわかる。「注意できない」と回答した児童は、注意した後の相手の反応、行動がこわくてできない様子がみられる。「どんな友達がほしいか」は、これまでに児童一人一人が感じたり経験したりしたことから記述した様子がみられる。一方、友達に対して「楽しい」、「おもしろい」だけの考えでいる児童がいる。

2学期に入り、運動会練習や修学旅行準備を通してお互いを認め合う雰囲気、高め合う関係になりつつあるが、真の友情の意味ではまだそのような関係が成り立っていない。

(3) 資料について

アンドレ、サバイユ、ニコライの3人のもとに旧友のロレンツから会いに行くという電報が届く。しかし、「ロレンツが会社のお金を持ち逃げした。もし立ち寄ったら知らせてほしい。」と刑事が言っていたと知る。約束の日、ロレンツは現れなかった。誰かの家に来るかもしれないと思い、ロレンツが来たときにどのように対応するか3人は考え、悩む。それぞれの考えは次の通りである。アンドレは、お金を持たせて逃がす。サバイユは、自首を勧めるが、本人が納得しなければ逃がす。ニコライは、自首を勧め、本人が納得しなければ警察に知らせる。その日、3人は眠れないまま夜を明かす。翌朝、警察に呼ばれ、警察の間違いであり、ロレンツは無実だったことを知る。4人は無事に再会を果たす。酒場では思い出話に盛り上がった。しかし、3人は本当に罪を犯していたら、友人としてどのようにすべきだったのだろうと考える話である。

友達との関係を意識する時期である児童に、「本当の友情とは何か。」「本当の友達ならどうするか。」を深く考えさせる内容である。3人はいずれもロレンツのことを思っているが、友達に対する考え方が異なっている。何らかの過ちを犯したかもしれない友達にどのような対応をするかは、児童の日常生活においてもあり得ることである。

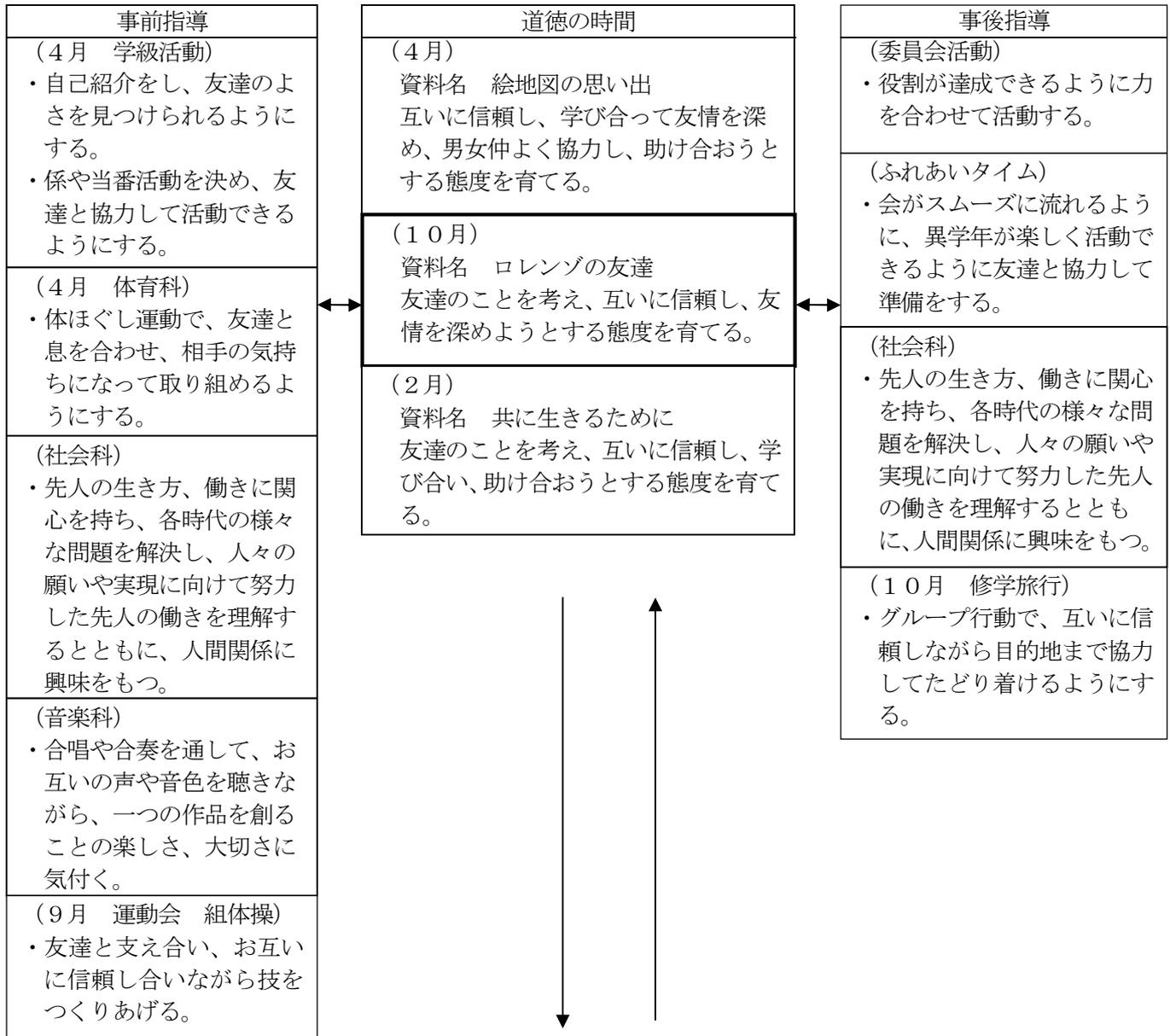
木の下で話し合った3人の考えを示し、自分ほどの考えに賛成または近いのか、立場を明確にさせる。その後、話し合いをさせるが、話し合う時間を十分に確保し、多様な考えに触れ、考えを深めさせる。行為の根拠となる気持ちについて語らせ、だれの考え方が正しいのかではなく、3人とも友達のために真剣に思い悩み、友達であればこそその葛藤であることに気付かせたい。本当の友達なら、周囲のうわさや判断に左右されずに相手との

信頼関係を基盤とし、自分で確かめたり判断したりして、相手の立場に立って考え、行動することが大切であることに気付かせ、ねらいに迫りたい。

3 ねらい

友達のことを考え、互いに信頼し、友情を深めようとする態度を育てる。

4 他の教育活動との関連



家庭との連携
学年、学級通信で授業内容を知らせ、頑張っている児童、努力をしている児童の様子を知らせる。授業参観、個人面談、連絡帳等で保護者との相互理解を図る。

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 ロレンゾからの手紙を読んで、感じたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・20年ぶりに友達に会えるのを楽しみにしている。 ・故郷に帰るのを楽しみにしている。 ・楽しみにしているけれど、少し不安もありそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に出てくる手紙を提示し、学習の動機付けを図る。

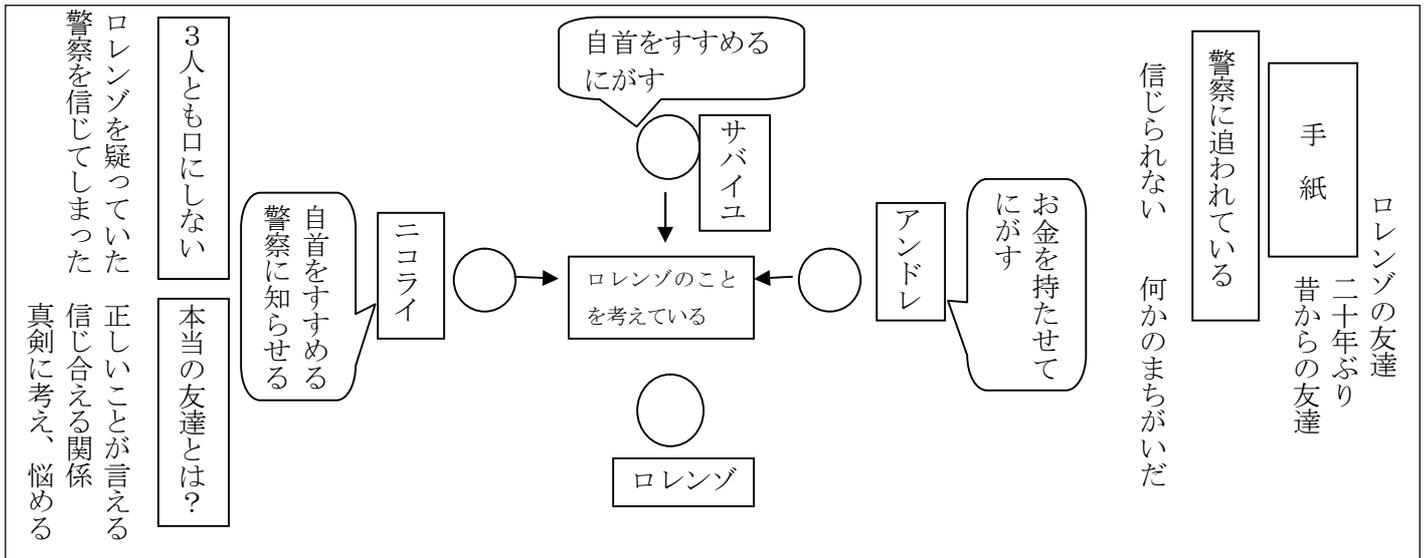
展 開	2 資料の登場人物、条件、 状況を知り、範読を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・アンドレ、サバイユ、ニコライの3人とロレンゾの関係をしっかりとつかませる。 ・資料を分断して範読する。 ・約束の日の場面を読む。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○アンドレ サバイユ ニコライ (主人公) ロレンゾ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人は昔からの友達 ・幼なじみ ・20年ぶりに会う。 </div>		
	3 登場人物について話し合 う。		
	(1) 警察に追われているとい うのを聞いたとき、3人は どんなことを思ったでしょ う。	<ul style="list-style-type: none"> ・信じられない。 ・何かのまちがいだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心配な気持ち、疑いの気持ちがあることを 押さえる。 ・3人が驚いている気持ちに共感させる。
	(2) 「ロレンゾがたずねてきた ら・・・。」と3人が考え たことについて、どの考え に近いですか。	<p>〈アンドレ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無罪を信じている。 ・友達だから警察には言えな い。 ・友達だから助けてあげたい。 ・何か理由があるのだろう。 <p>〈サバイユ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人に決めさせる。 ・納得していないのに、警察 には連れて行けない。 ・罪を犯していないと信じて いる。 <p>〈ニコライ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納得したら、付き添って警 察に行く。 ・逃げても罪は軽くなるない。 ・いけないことはいけない。 ・ロレンゾのため。 ・友達だから警察に知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人の考えを明確にしておく。 ・一人で考える時間を作る。 ・ネームプレートを黒板に貼らせ、自分の立 場を明確にさせる。 ・リストバンドをさせ、誰の考えに近いか視 覚でわかるようにさせる。アンドレが青、 サバイユが赤、ニコライが黄。 ・たずね歩きをし、意見交換をさせる。 ・たずね歩きでは、異なる色を優先的に意見 交換していく。 ・たずね歩き後、全体で自分と友達の意見を 聞き比べながら話し合いをさせる。 ・友達の考えを聞いて考えが変わったら、そ の理由を言わせる。 ・3人の揺れる思いに共感させる。 ・3人の考えはそれぞれ異なるが、ロレンゾ のことを真剣に考えていることに気付か せる。 <p>☆友達のことを真剣に考え、大切に思う気持 ちを捉えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">(態度、発言)</p>
	残りの資料を範読する。		<ul style="list-style-type: none"> ・約束の日の翌日の場面を読む。
	(3) かしの木の下で話し合っ たことを3人が口にしなか ったのはどうしてでしょ う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロレンゾを疑ってしまった。 ・警察の言うことを信じてし まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロレンゾと直接会って本当のことがわかっ たことを押さえる。 ・警察の言うことを信じ、ロレンゾを疑って しまったことに気付かせる。
	4 今までの自分を振り返り、 本時の学習で学んだこと や今後の生活に生かした いことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のためになることを考 えて、伝えられるようになり たい。 ・お互いに注意し合えるよう な関係になりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・資料と重ね合わせながら、自分の経験を振 り返らせ、友達について自分の言葉で書か せる。 <p>☆友情についての考えを深め、相手のため になる行動をとろうという気持ちが持てた か。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)</p>

終末	5 「私たちの道徳」 P.72～73 を読む。	・友達の大切さを感じ取り、友情を深めていこうとする意欲を高めさせる。
----	-------------------------	------------------------------------

6 評価の観点

- ・友情をさらに深くしていこうとする意欲を高めることができたか。 (観察・発言・ワークシート)
- ・児童の多様な考えを引き出し、ねらいに迫るような発問の組み立てになっていたか。 (観察・発言)

7 板書計画



□ レンゾの友達

名前（

）

☆ 今までの自分をふり返り、今後友情を深めるためには
どうしていきたいですか。

A large rounded rectangular box containing ten vertical dashed lines, intended for writing the student's response to the question above.